

ECMサミット2017 (夏)

ECMは死んだ!!?

ECM委員会とは？

- ▶ **JIIMAのナレッジ系委員会**
- ▶ ECMの**日本での普及**を狙いとしている
- ▶ ECMベンダやそのパートナー、コンサルタントなどが所属
- ▶ 具体的には**ECMサミット**とECMポータルを主催・運営

ECMサミットとは

- ▶ 年2回実施している**共同セミナー**
- ▶ **競合ベンダ**による競演
- ▶ 今回は**連続セミナー形式**
- ▶ **新会場！**



各社よりご参加頂いた有識者の方々

株式会社
BOX JAPAN

石渡達也様

オープンテキスト
株式会社

大沢明広様

HYLAND SOFTWARE

金井芳美様

富士ゼロックス
株式会社

山本修司様

本日の流れ

ナビゲーション

講演

まとめ

アンケートのお願い...

CONTENT SERVICES と 現代の情報管理

ECMにまつわる2つの課題

- ▶ 日本では諸外国（特に米国）ほど普及していない
- ▶ 米国でも普及が一段落してしまい目新しさが無い

AIIMでも数年前から

ECMに代わる用語を模索していた

今年1月のガートナー社BLOGに掲載された記事のセンセーショナルなタイトル

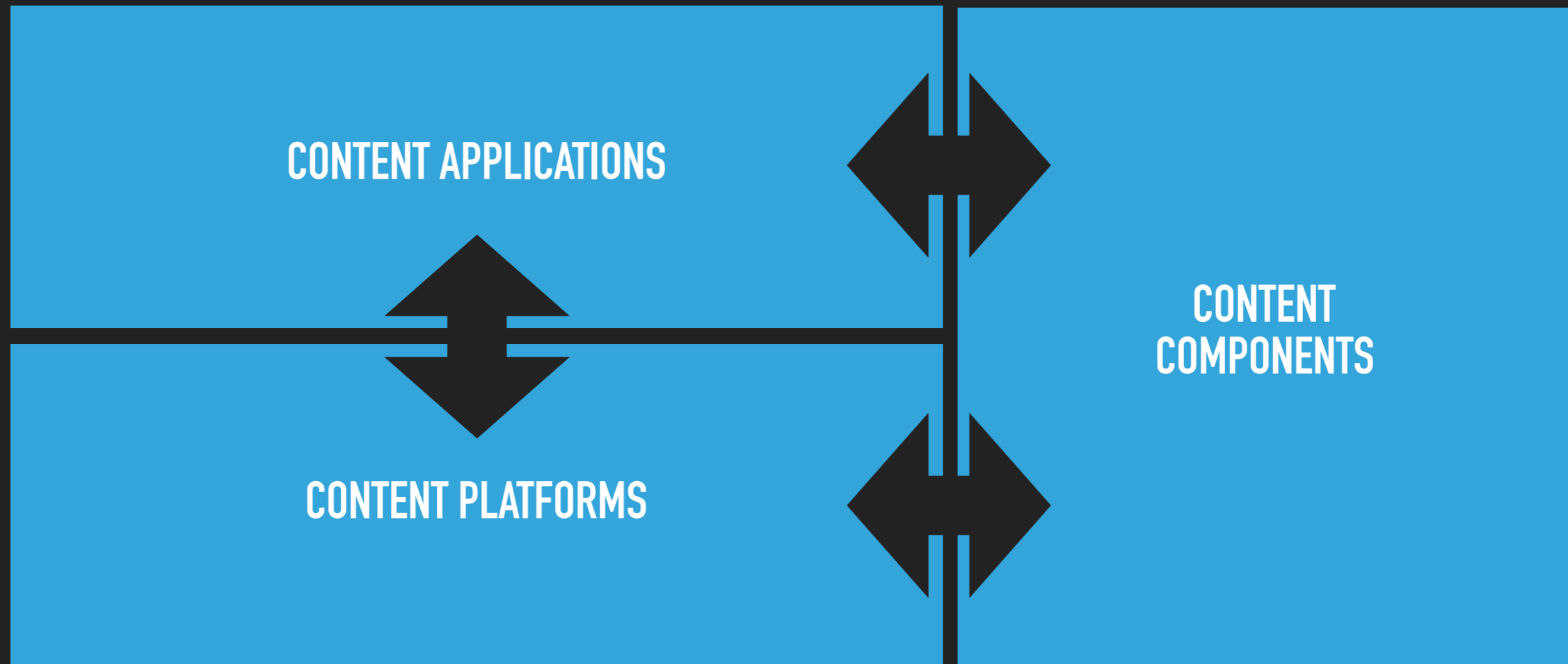
『THE DEATH OF ECM AND BIRTH OF CONTENT SERVICES』からの引用

ECMはエンタープライズワイドの統一リポジトリを理想としていたが、その目的は多種多様

- コンプライアンス対応とリスク管理
- ビジネス知識の維持と波及
- コスト削減とプロセス生産性の向上
- イノベーションと働き方改革

単一基盤での対応には無理がある

CONTENT SERVICESのアーキテクチャ



AIIMの反応

AIIMとは → マイクロフィルム時代に遡る歴史を有する米国のJIIMA

2013年 『ECM時代の終焉』 『記録管理は死んだ』

2014年 『記録管理という実験は失敗に終わった』

2015年 『「ECMの死」の歴史』 『新しいキーワードが必要』

2016年 『5年後、今私たちが言う処のECMは無くなっている』

2017年

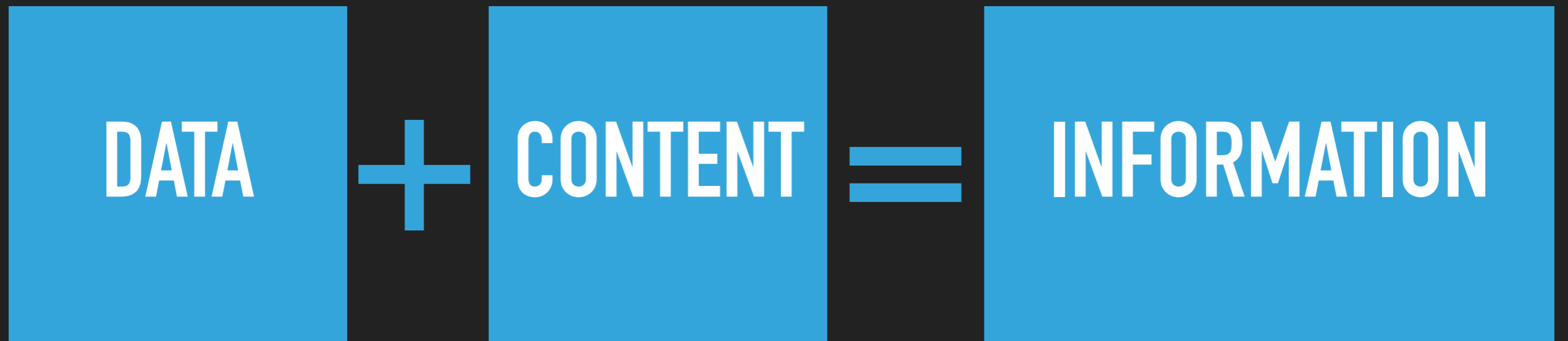
So is "Content Services" really all there is? Is "ECM" really dead?

The *term* might be straining a bit, but the *idea* isn't.



**THE NEXT
WAVE:**

INTELLIGENT INFORMATION MANAGEMENT



Create -> Capture -> Automate
-> Deliver -> Secure -> Analyze

お帰りの際は、必ず1階の
ECMサミット専用受付に入
館証をお返しください。

お願い

アンケートへのご協力をお願いします

<https://goo.gl/iP8J91>

